

Noism2 定期公演 vol.9

新作『私を泣かせてください』 演出振付：島地保武

金森穰振付 Noism レポートリー 演出：山田勇氣 (Noism2 リハーサル監督)

日程 ■ 2018年1月26日 (金) ~28日 (日) ※全4回公演

会場 ■ りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 <スタジオB>



金森穰振付 Noism レポートリー (2010年定期公演より)



『かきねのいろめ』(2015年定期公演より) 演出振付：島地保武

Photo : Isamu Murai

舞踊を通して何を獲得し、どのような未来へ進むのか。

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団である Noism1 の付属研修生カンパニーとして 2009 年に設立された Noism2。8 月からスタートした今シーズンは現在 19~23 歳までの計 9 名の若手舞踊家が在籍し、プロの舞踊家を目指して日々鍛錬を積んでいます。

設立以来、毎年開催する定期公演は、Noism2 メンバーにとってシーズン序盤の山場となる公演であると共に、さまざまな振付家と出会い、彼らの作品に身を投じることで、舞踊家としての豊かな経験を積む機会でもあります。

今回は、Noism 設立時のメンバーであり、現在は振付家・舞踊家として国内外で活躍する島地保武氏をゲストに迎え、新作『わたしを泣かせてください』を創作。また、金森穰振付による Noism 作品から数シーンを抜粋し、山田勇氣が演出・構成した Noism レポートリーも同時に上演します。

若き舞踊家達ひとりひとりが、異なる 2 演目に全力で向き合い、自らの新しい可能性を掴むことができるのか。Noism2 定期公演ならではの挑戦と成長の過程にどうぞご注目ください。

公演に関するお問合せ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel : 025-224-7000 Fax : 025-224-5626 Mail : info-noism@ryutopia.or.jp

前作『かさねのいろめ』から 2 年が経ちました。前作中盤のシーンでヘンデルの〈オンブラ・マイ・フ〉をダンサーが生演奏しました。今回はヘンデルの合奏協奏曲とオペラ〈リナルド〉のアリア〈私を泣かせて下さい〉を使用します。新潟に居るとなぜかヘンデルの曲を聞くようになります。湿度や気温など様々な条件がそうさせるのかもしれませんが。

今回の作品では人と魔女という 2 つの集団が登場します。これは、ヘンデルの魔法オペラと言われる〈アルチーナ〉と〈リナルド〉に描かれている十字軍とムスリムのエルサレムをめぐる戦いに登場する人物からアイデアを得ています。作中では、みなが自由を求めています。自由とは、これはいつも難しく魅力的な問いだと思います。

登場人物を紹介します。

【人間側】

まや……かえでの姉。かな（魔女）の身代わりになり死んでしまう。争いのない世界を望み自由の翼を探している。

かえで……姉をチムニーと呼んでいる。姉の死を受け入れられないで探している。なぜ姉は魔女をかばったのかを知りたい。

りお……超戦士。まやに好意を抱く。魔女の弱点を聞きだすために、まお（魔女）を好きな振りをしている。

魔女せん滅が使命と感じている。一度死んでいるが、じつは魔力で生き返っている。

ななみ……超戦士。自由に取り憑かれている。自由の翼を手に入れたい。翼を目の前にしたとき、狂う。

かえでを戦士として育てている。

【魔女側】

みお……人間が憎い。しかし、人間の文化に興味を持つ。超戦士りおとななみの宿敵。

ゆう……人間が憎い。自分が長になり思い通りに魔女王国を築きたい。老師あやきに憧れている。なにもかも超越したい。

老師あやきに自由の翼を授かる。

まお……りおに惚れる。人になりたくて老師あやきに相談。りおを生きかえらせたのは、まおの親。

かな……まやに命を助けられ、考えが変わる。争いを会話で解決させようと超戦士に近づく。

かえでには戦士になってもらいたくない。

【中立】

老師あやき……かえでの曾祖母。無我の境地に達している。人も魔女も経験している。歳をとらない。魔女まおを好きになる。人も魔女も経験する術を知っているが、まおに術を教えてしまうと自分が蓄えた歳を一気にとってしまう。

ダンサー各々がこれらのキャラクターをもちながら、抽象的にダンスで物語を描いていきます。



Photo : Ryu Endo

島地保武 Yasutake SHIMAJI

ダンサー、演出振付家。1978 年長野県生まれ。2004~06 年 Noism、2006~15 年ザ・フォーサイス・カンパニー（フランクフルト）に所属しメインパートを踊る。2013 年に酒井はなとのユニット Altneu を結成。2014 年に「NHK バレエの饗宴」に Altneu で出演。資生堂第七次椿会メンバーになりパフォーマンスに加えインスタレーション作品を展示。近年の作品には 2015 年 Noism2『かさねのいろめ』、2016 年愛知県芸術劇場制作での環 ROY と共作共演の『ありか』、2017 年谷桃子バレエ団の『Sequenza』がある。またアーツ前橋「アートの秘密」展にインスタレーション作品を出品する。www.shimaji.jp

Noism



Photo : Noriki Matsuzaki

Noism2 リハーサル監督／金森穰振付 Noism レパートリー 演出

山田 勇氣 Yuki YAMADA

舞踊家、振付家。Noism2 リハーサル監督。北海道生まれ。北海道教育大学函館校にて清水フミトに出会いダンスをはじめ。2005年 Noism に入団。退団後、武道家日野晃に学ぶ。13年より Noism2 専属振付家兼リハーサル監督に就任。プロを目指す若手舞踊家を率い、新作を発表している。近年は新潟市内の小中学生や舞踊未経験者にもむけたワークショップ等のアウトリーチ活動も積極的に行っている。



Noism2 (ノイズム ツー)

Noism の研修生カンパニー。プロフェッショナルカンパニーである Noism1 の付属集団として 09年 9月設立。プロをめざす若手の舞踊家が所属し、毎年春・夏には単独公演を行うほか、Noism1 との合同公演として劇的舞踊『ホフマン物語』や『中国の不思議な役人』、劇的舞踊『カルメン』、『ラ・バヤデール—幻の国』等に出演。13年のシーズンからは専属振付家兼リハーサル監督として山田勇氣を迎え、県内ツアーや新潟市内でのイベント等にも出演している。

Photo : Ryu Endo



西澤真耶

片山夏波

門山楓

牧野彩季

三好綾音

岩城美桜

森川真央

森加奈

鈴木夢生



Photo : Kishin Shinoyama

Noism 芸術監督

金森 穰 Jo KANAMORI

演出振付家、舞踊家。りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督、Noism 芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。NDT2 在籍中に 20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家・演出振付家として活躍後帰国。04年 4月、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。14年より新潟市文化創造アドバイザーに就任。平成 19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成 20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。
www.jokanamori.com

公演概要

Noism2 定期公演 vol.9

新作『私を泣かせてください』

演出振付：島地保武

音楽：ゲオルグ・フリードリヒ・ヘンデル、岡直人

衣裳：山田志麻

金森穰振付 Noism レパートリー

演出：山田勇氣（Noism2 リハーサル監督）

出演：Noism2

Noism 芸術監督：金森穰

日時：2018年1月26日（金）19:00 ※全4回公演

27日（土）17:00

28日（日）13:30/17:00

* 終演後にアフタートークを開催。28日13:30の回は除く。

会場：りゅーとぴあ 新潟市民文化会館<スタジオB>

入場料：2,000円（税込・入場整理番号付き自由席）

チケット発売日：N-PAC mate（友の会）11月17日（金） / 一般11月18日（土）

【お問合せ・チケット取扱い】

▶ りゅーとぴあ（窓口・チケット・オンライン）

チケット専用ダイヤル 025-224-5521（11-19時/休館日除く）

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

▶ イープラス <http://eplus.jp/>（PC・MB 共通）

【諸注意事項】

* 未就学児の入場はご遠慮いただいております。

* 開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限させていただきます。

主催：公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団 製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



公演に関するお問合せ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2 Tel : 025-224-7000 Fax : 025-224-5626

オフィシャルサイト www.noism.jp



Noism



@NoismPR



noism_official